

第2刷 加筆・修正箇所

★本書内

P8 特設サイト URL の横に QR コードを追加しました。



P12 図 1.4 プレートテクトニクスの様式図

第1刷時「用語解説」ページ P7 収録の動画

「プレートテクトニクス (Plate Tectonic Basics JN)」を移動し。ここにしました。



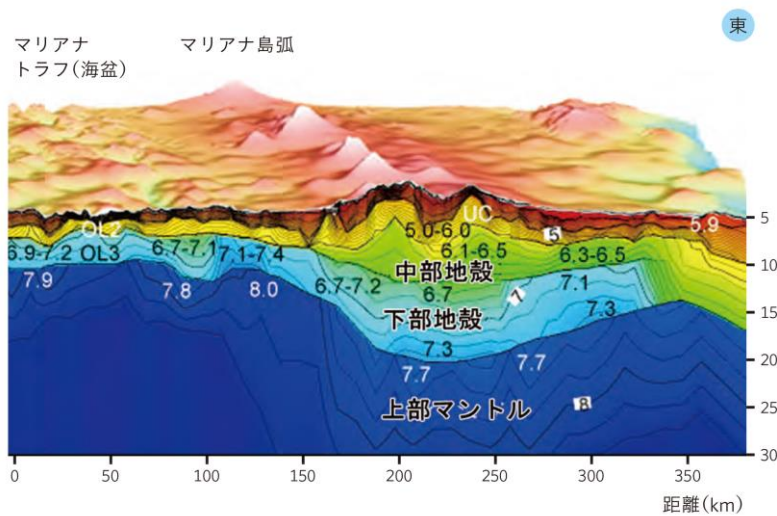
<https://youtu.be/pXaNXyYZXT4>

P14 本文1行目

× 総延長 8 万 km → ○ 総延長 7 万 km

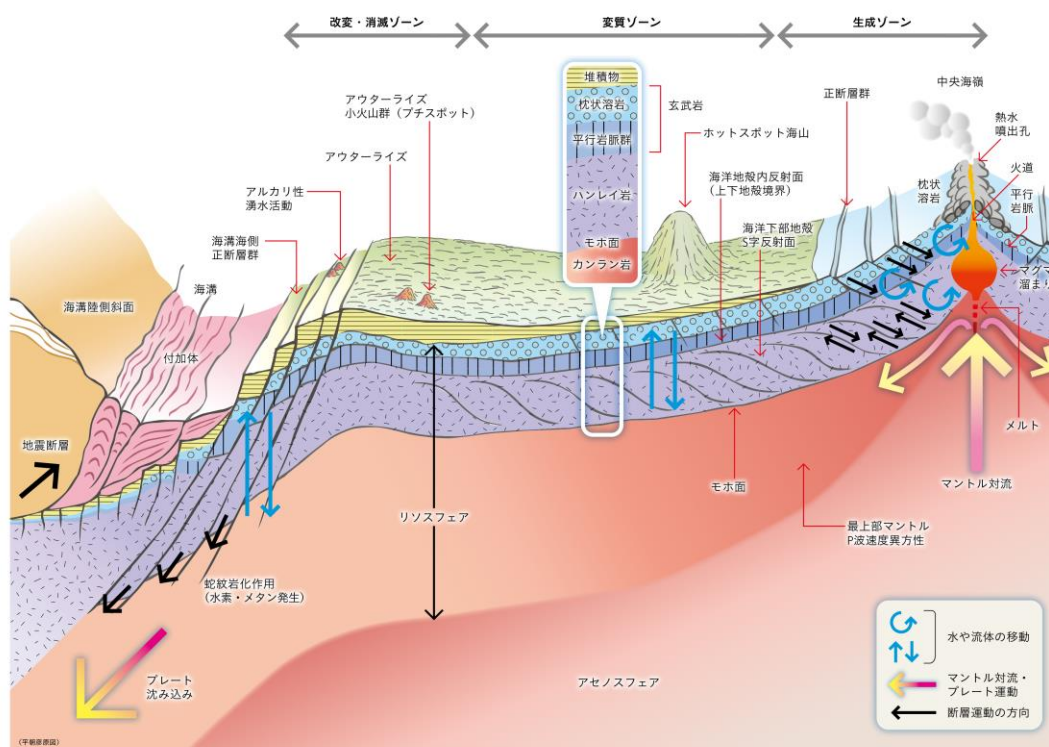
P21 図 1.11 マリアナ島弧を横切る地殻断面

「マリアナ島弧」キャプションの位置を修正しました。



P26-27 図 1.14 海洋地殻の変遷

- 1 : 図版内の「正断層群」を追加。
- 2 : 「断層運動の方向」を黒矢印に修正。
- 3 : 「マンテル対流・プレート運動」と上記 2 を差別化しました。



P36-37 「図 1.20 北米大陸西部、北米コルディレラの地質断面図」内
 ×低角度正射層 → ○低角度正断層

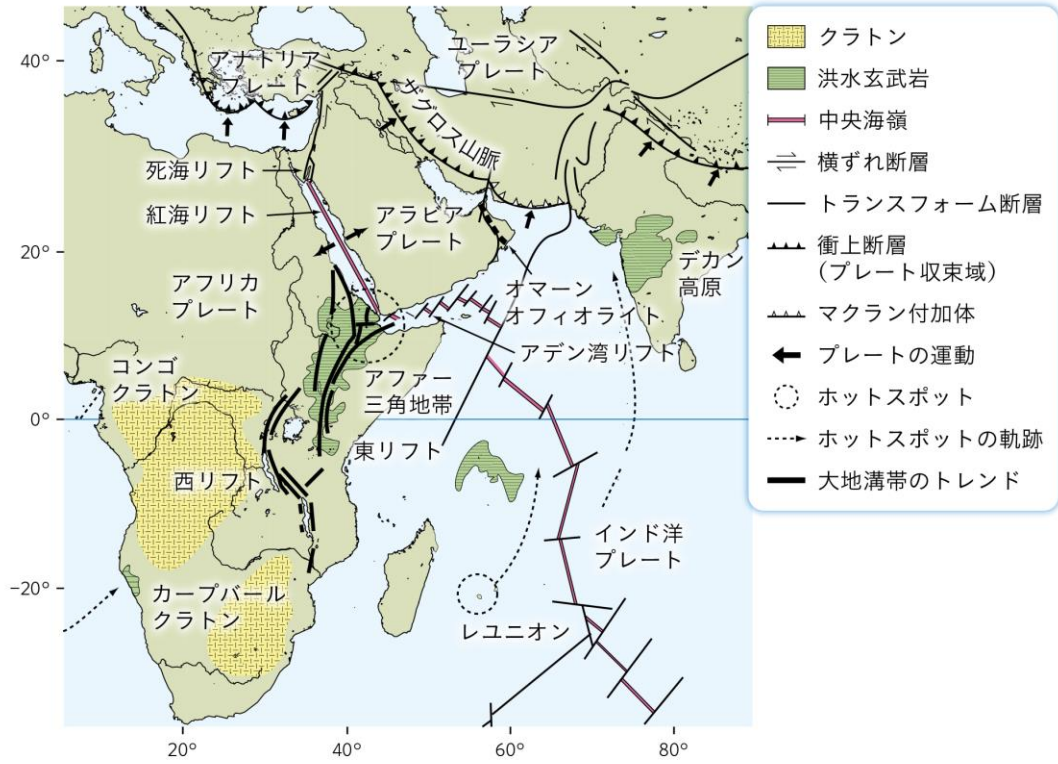
P39 「図 1.22 アフリカ大陸の地形」内
 「ジブチのマークと文字」を削除しました。

P40 本文 6-7 行目

- × 北はジブチの三角地帯（アファー三角地帯）から始まり、
- ↓
- 北は三角地帯（アファー三角地帯）から始まり、

P41 図 1.24 ケニア付近のリフトの形成史

黒矢印を太く（見やすく）し「プレートの運動」という項目を追加しました。
 項目「マクラン付加体」を追加しました。



P45 本文末

(補足写真 2.1) を追記しました。

P48 図 2.5 南海トラフ・駿河トラフ・相模トラフの海底地形

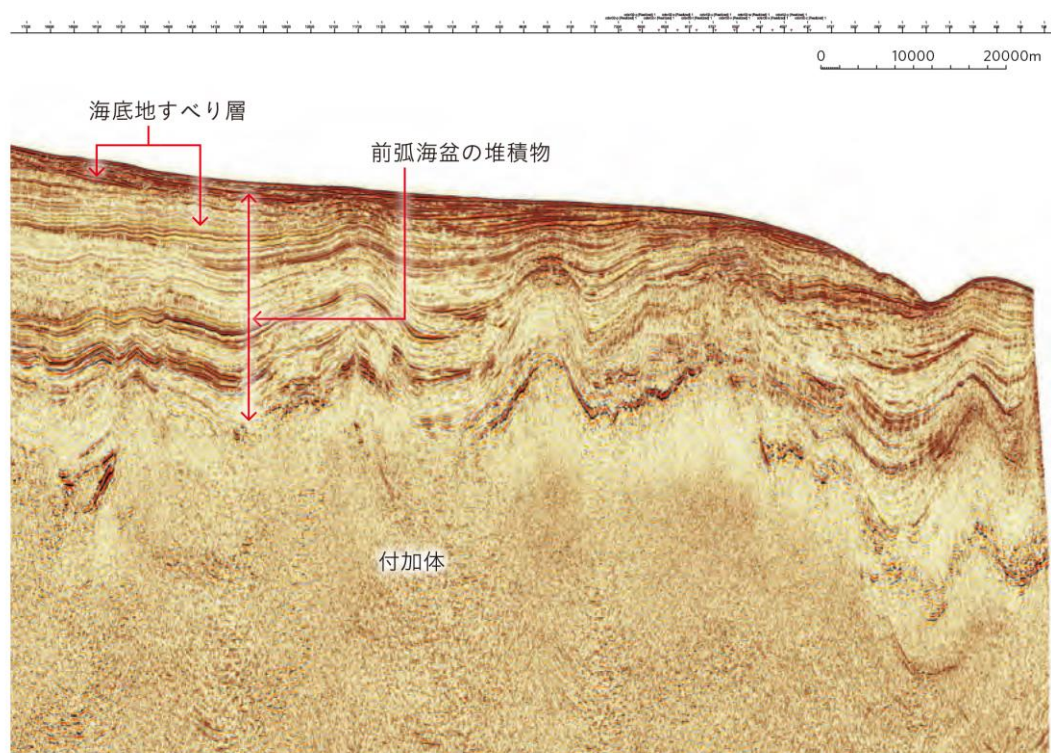
図中に「相模トラフ」を示す、矢印を追加しました。



P55 図 2.11 沖縄トラフの地形図 キャプション末
(補足写真 2.4) を追記しました。

P71 図 3.3 米国・アリゾナ州グランドキャニオンの地層 キャプション末
(補足写真 3.2) を追記しました。

P71 図 3.4 反射法地震波探査による八戸沖の地質断面図
「前弧海盆の堆積物」矢印の位置を修正しました。



P72-73 図 3.5 堆積層のでき方 キャプションa,b,c末
(補足写真 3.3) を追記しました。

P80 図 3.10 干潟・浅海の堆積層キャプションa末
(補足写真 3.7) を追記しました。

上記同図 キャプションcを修正しました。

× 高知県竜串の三崎層群の露頭にて

↓

○ 高知県竜串の三崎層群の沖合砂州の砂岩層

P81 本文 4-6 行目を削除

× サンドウェーブと呼ばれ、千葉県の更新統市宿砂層は、……

↓

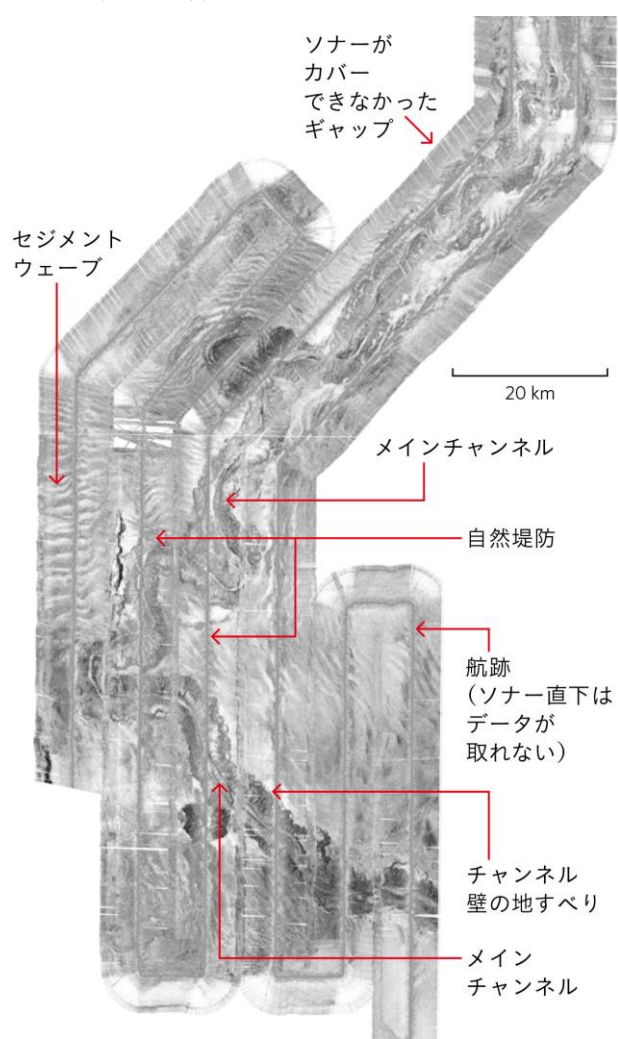
○ サンドウェーブと呼ばれる。

P83 図 3.13 タービダイトの堆積構造 キャプション

(補足写真 3.8) を追記しました。

P84 図 3.14a 深海チャンネル：富山深海長谷のサイドスキャンソナー図

ソナー図の見方を付け足しました。



P91 図 4.5 溶岩流の形態 キャプション a, b

(補足写真 4.2.1) を追記しました。

P94 図 4.9 神奈川県三浦半島に見られる海底堆積物 キャプション末
(補足写真 4.2.2) を追記しました。

P97 本文末
(補足写真 4.3) を追記しました。

P98 図 4.12 キラウエア火山の地質 キャプション内
(補足写真 4.3) を追記しました。

P98 図 4.12.d 「立木の跡 (ツリーモールド)」 の写真を差し替えました。



P99 図 4.13 マウナロア火山の 50km 長大溶岩流 キャプション内
(補足写真 4.3) を追記しました。

P99 図 4.14.a 「マウナケア火山の火砕丘群」 の写真を差し替えました。



P100 図 4.16 オアフ島の火山地質 キャプション
(補足写真 4.3) を追記しました。

P103 図 4.18 三原山の溶岩流と火口 キャプション
(補足写真 4.4) を追記しました。

P104 図 4.19 伊豆大島マグマ水蒸気噴火の火砕岩類 キャプション
(補足写真 4.4) を追記しました。

P104 動画 4.19.a : 03 成層したスコリア層
動画内の音声ノイズを修正し、QR コード、URL を差し替えました。



https://youtu.be/E1_zDYq9Jj4

P104 図 4.20 地震大切断露頭に見える大島噴火の歴史 キャプション
(補足写真 4.4) を追記しました。

P105 図 4.24 阿蘇火山の火山地質
(ヘリコプターからの観察) キャプションを追記しました。

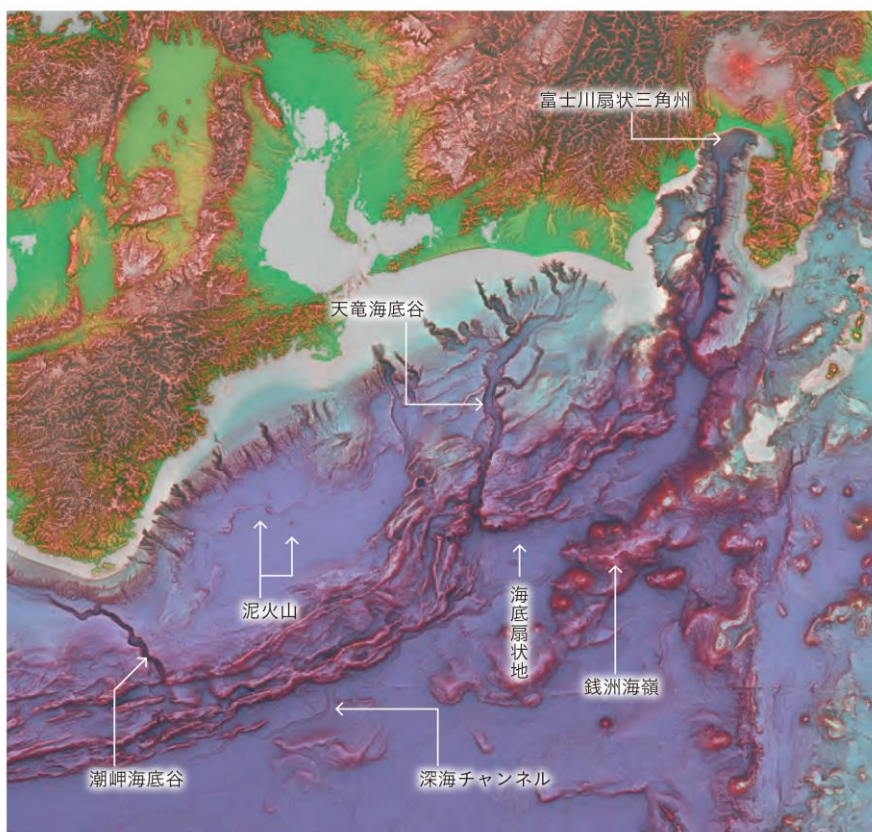
P109 本文 4 行目
× (動画 4.24.b でも解説) → ○ (補足写真 4.6) に修正しました。

P109 図 4.25 阿蘇火山 キャプション
× 露頭とヘリコプターからの観察
↓
○ 露頭 (補足写真 4.6)

P109 図画 4.25
02 と 03 の動画を入れ替えました。

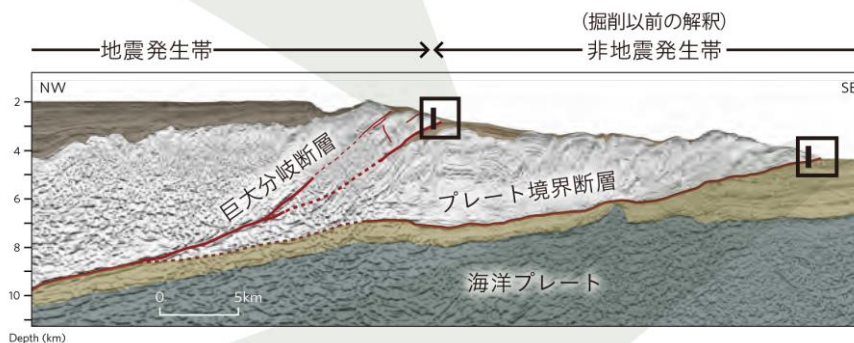
P109 図 1.26 高千穂峡の溶結凝灰岩 キャプション
(補足写真 4.6) を追記しました。

P113 図 5.2 南海トラフ東部の地形図
図中「海底扇状地」の位置を修正しました。



P115 図 5.3 南海トラフの地質構造
図右下の単位： × TWTS → ○ TWT に修正しました。

P123 図 5.7 紀伊半島沖地震発生帯の構造 (中段の図)



(掘削以前の解釈) を追記しました。

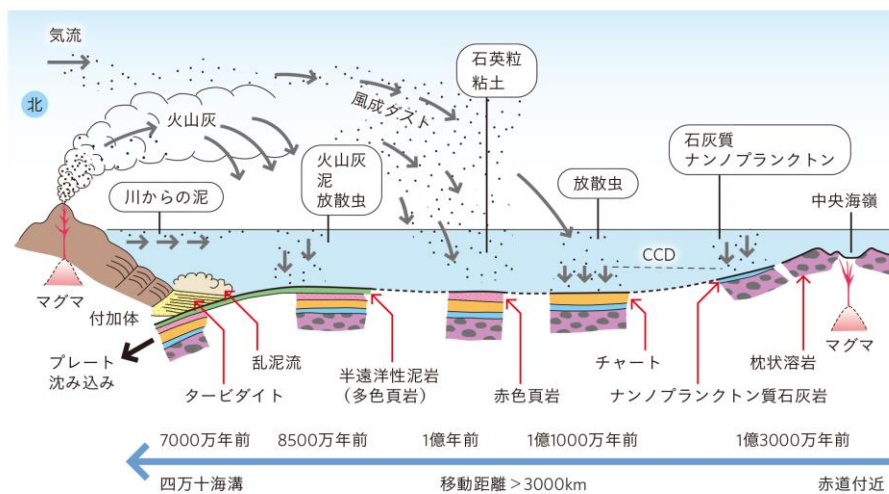
P123 図 5.7 紀伊半島沖地震発生帯の構造（右下の図）注記内
 ×（海底下 4380m） → ○（海底下 438m） に修正しました。

P128 図 5.10 タービダイト体の地質 キャプション
 （補足写真 5.6）を追記しました。

P129 図 5.12 メランジュ体の地質
 写真を差し替えました。



P133 図 5.15 四万十帯における海洋プレートの移動とプレート層序の形成
 図中 × ナンノ石灰質 → ○ ナンノプランクトン質石灰岩



P135 本文9行目

× (P173 図 7.7) → ○ (P174 図 7.7b) に修正しました。

P141 図 6.4 日本海溝を横切る反射法地震波探査プロファイル

Kodaira et al. (2012) より

キャプション b 赤字部分を削除

× 東北地方太平洋沖地震前後の海溝陸側斜面先端と日本海溝の堆積物の反射法地震波探査からみた地質構造比較。

↓

○ 東北地方太平洋沖地震後の海溝陸側斜面と日本海溝の堆積物の反射法地震波探査からみた地質構造。

P141 動画 6.4 下記、キャプションを追加しました。

「動画 6.4 は地震前後での構造の比較と南海トラフ掘削結果との比較。」

P147 図 6.12 松浦川周辺における津波堆積物の調査

(補足写真 6.3) を追記しました。

P147 図 6.13 福島県松浦川において津波の痕跡を調べる キャプション末

(補足写真 6.3) を追記しました。

P161 年表



左上： × 最初の大陸 → ○ 最初の超大陸

中段： × 藍藻類などが積み重なってできた岩石。



○ シアノバクテリアなどが積み重なってできた岩石。

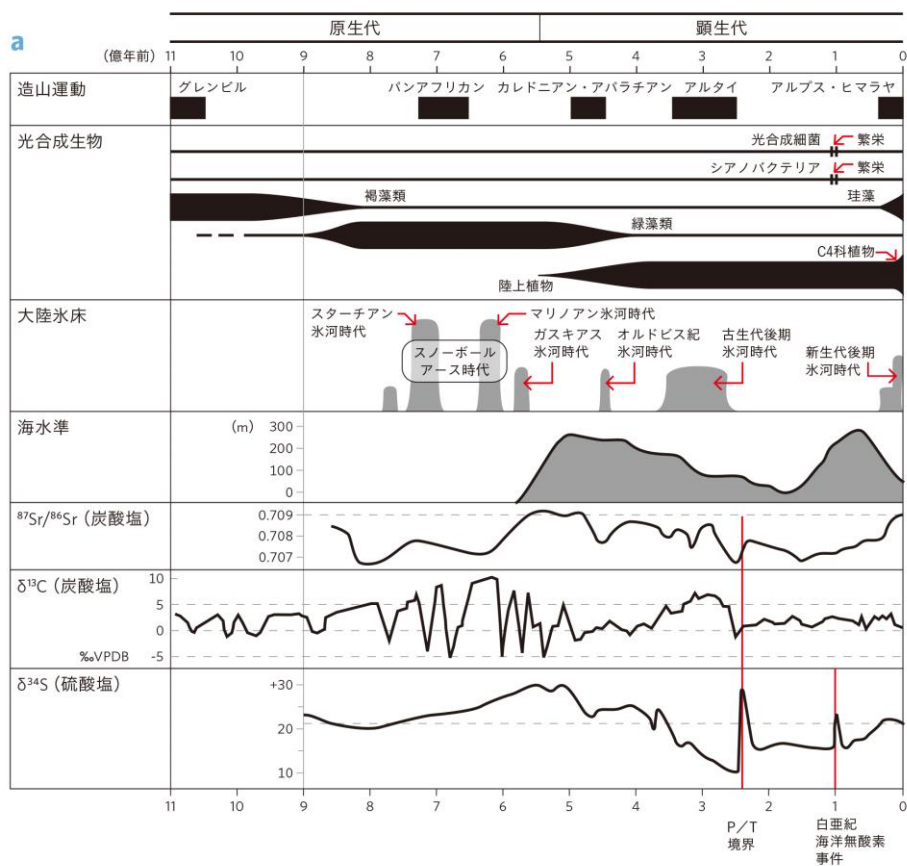
P166 column16 キャプション

× キプロスのオフィオライトに胚胎する VMS 鉱床。



○ オーストラリア ハマースレイ地域の縞状鉄鉱床（東京大学 加藤泰治氏提協）

P170 図 7.6 11 億年の以降の地球の歴史年表



年表 2 段目「光合成生物」 右側に 「繁栄」の文字と矢印を追記しました・
 年表最下段 見出し ×「 $\delta^{34}\text{S}$ 」 → ○「 $\delta^{34}\text{S}$ 」に修正しました。

P171 図 7.6a キャプション

左段 30 行目 × 同位体比は大きく、 → ○ 同位体比は小さく。
 右段 1 行目 ○ Sr 同位体比が小さく → ○ Sr 同位体比が大きく

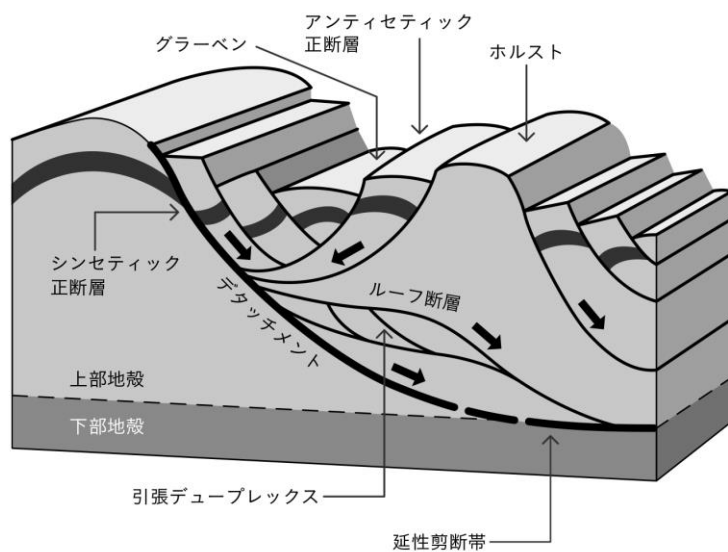
P180 図 7.11 伊豆衝突帯・三浦半島の地質 キャプション

(補足写真 7.6) を追記しました。

★用語解説

P7 解説図 1-3b の動画 QR コード・URL を、
カラーページ P12 に移動しました。

P9 解説図 1-5 リフト帯の構造



図中に「グラーベン」を追記しました。

P19 解説図 2-1 キャプション

「インバージョン・テクトニクス (①→③→④) と地層の変形。」

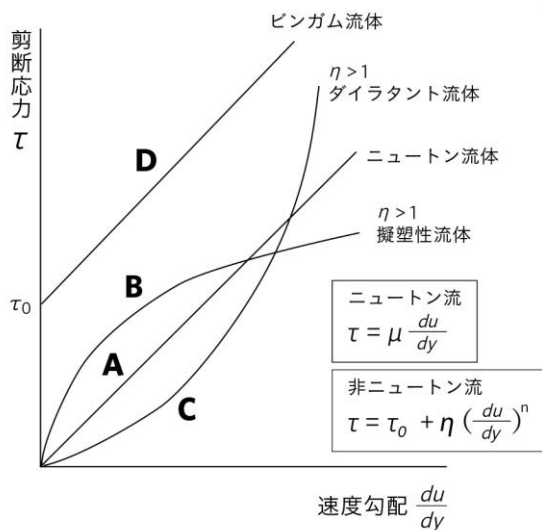
上記、(①→③→④) を追記しました。

P36 解説図 3-14b キャプション 3 行目

「上は三日月型砂堆 (バルカン型)」

(バルカン型) を追記しました。

P39 解説図 3-19-a



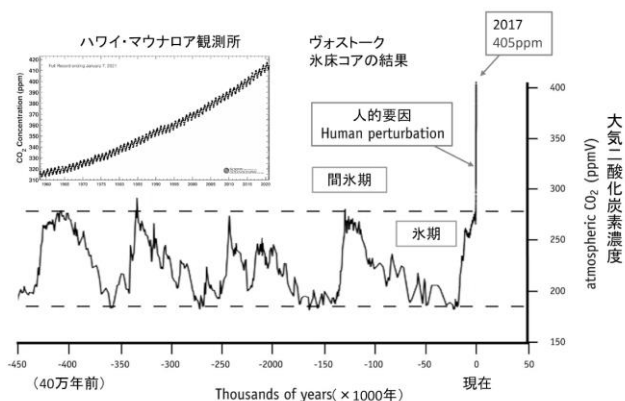
図中記号 $\mu \rightarrow \eta$ に修正しました。

P52 解説図 6-9 キャプション

- × 浦安コアの柱状図。WSTは標準貫入試験、SPTはスウェーデン式サウンディング試験。
- ↓
- 浦安コアの柱状図。WSTはスウェーデン式サウンディング試験、SPTは標準貫入試験。

P56 解説図 7-10 a: 第四紀における大気二酸化炭素濃度の変動

a: 第四紀における大気二酸化炭素濃度の変動



図版内 折れ線グラフのデータを最新のものに差し替えました。

★補足写真

補足写真では、すでに本書内に収録されている写真を外し、より本書とリンクするように再構成をしました。また、一部の項目では、あらたな節をつくり、追加の写真・図版などを収録しています。

<第1章補足写真>

chapter1.9 北米の山岳地帯 以下の写真を追加しました。

- ・アメリカ・テキサス州西部パーミアン盆地（Permian Basin）の二畳紀石灰礁（Capitan Reef）と断層地形 内に、写真②「キャピタンリーフの礁性石灰岩」

<第2章補足写真>

「column 4 日仏海溝計画で撮影した海底写真」を、本書との対応をより明確にするために、チャプターごとに再構成しました。

- ・chapter2.1 東北日本太平洋沖の海底
- ・chapter2.2 南海トラフの海底（水深 3800m～4300m）
- ・chapter2.3 相模トラフから房総海底谷（水深 5300m）

新たに、下記の項目を追加しました。

- ・chapter2.3 相模トラフの海底 しんかい2000の大発見：相模湾の奇妙な生物
- ・chapter2.4 沖縄トラフの海底

<第3章補足写真>

chapter3.6「ポイントバーの堆積構造」に写真②,⑤,⑥,⑦を追加しました。

- ②：ポイントバー側からみた下部の砂堆。
- ⑤：ポイントバーのトラフ斜交葉理。
- ⑥：ポイントバーの平行葉理。
- ⑦：クライミングリップル葉理。

本書の構成にあわせ、chapter3.7 を chapter3.8 の前に移動しました。

<第4章補足写真>

chapter4.2 を、本書との相関を明確にするため、

- ・ chapter4.2.1 溶岩流の形態
- ・ chapter4.2.2 神奈川県三浦半島の見られる海底火砕堆積物

の2つに分けました。

<第5章補足写真>

chapter5.6 タービダイト帯の地質（四万十帯）を、本書に収録された動画に対応するように再構成しました。

<第6章補足写真>

chapter6.3 福島県相馬市松川浦にて津波堆積物の調査 を本書に収録された動画に対応するように再構成しました。

<第7章補足写真>

chapter7.6 秋田県男鹿半島の地層と日本海の形成 を本書に収録された動画に対応するように再構成しました。